

# 令和3年度事業計画

## 1 教育支援事業（母校、地域、在学生への支援）

- (1) 寄附講座（経済学部特殊講義Ⅰ）の開講（令和3年10月～令和4年2月の間で開講）。講師5名（各3回担当、計15回開講）、受講生は毎回10名を予定。意見交換等、講師・受講生意思疎通を図ることができる「ゼミナール形式」での開講を予定。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によっては、リモート（Zoom）での開催を検討。
- (2) 経済学部との連携による学生の就職活動に対する支援の推進  
就職アドバイザー（鳳陽会会員2人）による就職に関する個別相談、企業人事担当者及び就職アドバイザーによる模擬面接の実施
- (3) 経済学部職業会計人コースに対する支援及び助成
  - ① 職業会計人を目指す学生への柳上奨学金（給付型奨学金）の給付
  - ② 公認会計士試験、税理士試験合格者の表彰
- (4) 経済学部における国際交流及びグローバル人材育成に対する支援及び助成
  - ① 英会話特訓講座開講に要する経費の一部を助成
  - ② 英会話副読本購入経費の助成
- (5) 卒業生、在学生の各学年、各学科の成績優秀者及びTOEIC成績優秀者の表彰
- (6) 教育、ゼミ活動、研究充実のための支援、助成及び講演会等の後援
- (7) 学生ゼミナール連合協議会主催の「卒業記念パーティー」への助成

## 2 交流事業

- (1) 山口大学同窓会活動（ホームカミングデー等）への積極的参加
- (2) 山口大学他学部同窓会及び他大学同窓会との交流の促進
- (3) 卒業時、経済学部卒業生（新規会員）へ鳳陽会紹介冊子「花なき山の…」を配付し、記念品（シャープペンシル）を贈呈
- (4) 新入学生の「保護者懇談会」、学年別オリエンテーション等で「鳳陽会」の組織・活動内容等を具体的に紹介し、同窓会活動に対する理解を促進
- (5) 本部ホームページの管理・運営

## 3 同窓会関係事業

- (1) 新卒業生や既卒業生の動静把握、会員名簿の整理・充実に努め、会員動静の一層の把握に努める。
- (2) 各支部の鳳陽会ホームページの積極的な活用を促進する。
- (3) 各支部総会等において、山口大学、経済学部の資料及び山口地域の情報を提供する。

- (4) 各支部との連携による会員の動静管理、鳳陽会関係資料の一層の充実や、会員データの迅速な検索、抽出及び提供に努める。(会員限定)
- (5) 鳳陽会の厳しい財政状況の改善の一方策として、会員の誰からも寄付金を受け入れることができる郵便局の「払込通知票」の作成の検討を進める。
- (7) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、通常総会を山口市の鳳陽館で開催することとし、会員のほとんどは書面議決によるものとする。  
令和3年度：第91回通常(全国)総会、6月19日(土)、山口市の鳳陽館で開催

#### 4 会報発行业務

内容の充実を図るとともに、会員及び学生からも親しまれる、読みやすい機関誌「鳳陽」を目指して、従前どおり、年3回発行、編集する。

- (1) 第172号(5月発行)は、従来どおり海外会員を含む全会員に送付
- (2) 第173号(9月発行)・第174号(1月発行)は、当会の財政状況を踏まえ、正会員(年会費納入会員及び賛助会費納入会員)のみに送付
- (3) 経済学部の教官(現・旧)や在学生、大学本部、他学部同窓会、他大学同窓会等に配付・送付

#### 5 本年度の重点施策(再掲)

鳳陽会の組織運営体制を強化し、鳳陽会活動の活性化を図るため、引き続き「アンケート結果に基づく具体策への取組」を進める。

##### (1) 組織運営体制の強化

同窓会活動の基本である会員の動静把握に努めるとともに、支部組織の強化・再編に取り組み、鳳陽会の組織運営体制の強化を図る。

##### (2) 鳳陽会活動の活性化

支部活動の支援、ホームページの管理・運営、会員からの寄付金の募集のための検討、機関誌「鳳陽」の内容の充実を始めとする「アンケート結果に基づく具体策への取組」に掲げた各具体策の取組を進め、鳳陽会の同窓会活動の活性化を図る。

# 令和3年度収支予算

(単位：円)

科目	当年度予算	前年度予算	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	2,346,000	2,346,000	0
受取入会金	6,800,000	6,800,000	0
受取会費	3,200,000	3,200,000	0
受取寄付金	100,000	1,300,000	△ 1,200,000
受取広告料	420,000	460,000	△ 40,000
受取利息	94,000	94,000	0
雑収入・その他	4,600,000	4,600,000	0
経常収益合計	17,560,000	18,800,000	△ 1,240,000
(2) 経常費用			
① 事業費	14,716,000	15,260,000	△ 544,000
給料手当	3,290,000	3,290,000	0
福利厚生費	516,000	514,000	2,000
教育援助費	6,140,000	6,140,000	0
情報交流費	970,000	870,000	100,000
減価償却費	494,000	500,000	△ 6,000
通信運搬費	1,420,000	1,430,000	△ 10,000
消耗品費	30,000	40,000	△ 10,000
「鳳陽」刊行費	1,460,000	1,360,000	100,000
同窓会事業費	200,000	920,000	△ 720,000
光熱水料費	196,000	196,000	0
② 管理費	4,374,000	5,100,000	△ 726,000
給料手当	1,426,000	1,426,000	0
福利厚生費	212,000	211,000	1,000
会議費	40,000	160,000	△ 120,000
旅費交通費	320,000	691,000	△ 371,000
通信運搬費	480,000	450,000	30,000
減価償却費	211,000	215,000	△ 4,000
消耗品費	60,000	60,000	0
消耗品什器備品費	80,000	80,000	0
修繕費	40,000	300,000	△ 260,000
光熱水料費	84,000	84,000	0
賃借料	690,000	690,000	0
租税公課	281,000	283,000	△ 2,000
雑費	450,000	450,000	0
経常費用合計	19,090,000	20,360,000	△ 1,270,000
当期経常増減額	△ 1,530,000	△ 1,560,000	30,000
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益合計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用合計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,530,000	△ 1,560,000	30,000
一般正味財産期首残高	46,388,488	47,554,310	△ 1,165,822
一般正味財産期末残高	44,858,488	45,994,310	△ 1,135,822
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減高	△ 4,600,000	△ 4,600,000	0
指定正味財産期首残高	163,200,000	167,000,000	△ 3,800,000
指定正味財産期末残高	158,600,000	162,400,000	△ 3,800,000
<b>III 正味財産期末残高</b>	203,458,488	208,394,310	△ 4,935,822

注) 上記の令和3年度収支予算は、平成20年会計基準の損益ベースで作成